

岡山県真庭市津黒高原湿原 『自然再生実地研修』募集要領

西日本唯一の「自然再生実地研修」です。ふるってご参加ください。

主催：津黒高原湿原自然再生協議会（真庭市、津黒いきものふれあいの里、鳥取大学農学部生態工学研究室、岡山県自然保護センター、蒜山ツアーデスク）

後援：環境省中国四国環境事務所（予定）



開催日程ほか	
開催日程	平成29年9月16日（土）・17日（日）・18日（月）の3日間
実施場所	岡山県真庭市津黒いきものふれあいの里（岡山県真庭市蒜山下和1077）
対象	自然再生士ならびに自然再生士補に登録された方の中で、自然再生活動に参加し、自然再生に係る知識や技術の向上意欲の高い方。
募集人員	20名（受付先着順） ※切：8月31日（木）ただし、定員になりましたら締切にさせていただきます。
費用（概算）	蒜山なごみの温泉津黒高原荘2泊3日（朝夕2食付） 17,000円程度 集合場所までの交通費及び3日間の昼食代は各自負担
服装	野外作業に適した作業服（着替え）、日よけ帽子、雨具、長靴（地下足袋等）水筒、保険証、薬など
プログラムの内容	
9/16（土）	午前 11:00 現地到着 → 11:00～13:00 昼食（持参）・オリエンテーション
	午後 13:00～14:00 講義 → 14:00～15:00 自然観察 → 15:00～17:00 湿原再生作業①
	夕方 18:00～19:00 夕食・交流会 < 宿泊：津黒高原荘 >
9/17（日）	午前 9:00～12:00 湿原再生作業② → 12:00～13:00 昼食：国民宿舎等
	午後 13:00～17:00 湿原再生作業③
	夕方 18:00～19:00 夕食・交流会 < 宿泊：津黒高原荘 >
9/18（月）	午前 9:00～12:00 湿原再生作業④ → 12:00～13:00 昼食：現地解散

注1. 本研修会は、自然再生士の任意単位、造園CPD認定プログラムとなります（予定）。

注2. プログラムの内容は変更になる場合があります。詳しくは日本緑化センターHPをご確認ください。

『自然再生実地研修』申込書

- (1) 本研修会は、原則として自然再生士・自然再生士補の資格を有しない方は受講することはできません。また、一日だけの受講もできませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 請求・領収書の要不要について、どちらかにならず○をつけてください。
- (3) 申込受付後に、「受付完了のお知らせ」を、希望された周知方法（メール、FAX、郵送）でお送りしますので、内容をご確認ください。なお、お知らせの周知は、7月中旬頃からの送信・送付を予定しております。
- (4) 集合場所・時間：津黒いきものふれあいの里駐車場・9月16日（土）10:45
 (津黒いきものふれあいの里と津黒高原荘は徒歩5分、車で1分の距離にあります)
 公共交通の場合：津黒高原荘のHPでご確認ください。詳しくは津黒高原荘 0867-67-2221 へお問い合わせください。
 自家用車の場合：上記の津黒いきものふれあいの里駐車場へ直接おいで下さい。駐車場は十分にあります。
- (5) ボランティア保険について、主催者が一括契約により対応させていただきますので、移動時、作業時の負傷等の補償を行います。

※太枠内に必要事項をご記入下さい

資格番号	自然再生士・自然再生士補 第()号		申込日	平成	年	月	日
ふりがな							
氏名							
区分	勤務先・自宅	勤務先名					
住所	〒						
TEL			FAX				
E-mail							
緊急連絡先 生年月日	▼団体保険の加入に必要となりますので、必ずご記入ください。						
	TEL :	生年月日	昭和・平成	年	月	日	
お知らせの 周知方法	▼ご希望のお知らせ方法に○を付けてください。ただし、請求書の送付の必要な方は「3. 郵送」となります。お知らせの周知は、7月中旬頃からの送信・送付を予定しております。						
	① メール（携帯メールは不可）		② FAX		③ 郵送		
請求・領収書の 宛名・日付 ・送付先	① 請求・領収書を希望します		② 希望しません				
	▼事前に請求書の送付が必要な方のみ、「宛名」、「日付(日時、空欄等)」、「送付先」をご記入ください。						
	宛名						
	日付						
送付先	〒						

【申込先】

住所 〒717-0513 岡山県真庭市蒜山下和 1080-1
 宛名 蒜山なごみの温泉 津黒高原荘・自然再生士実地研修係
 連絡先 TEL ; 0867-67-2221 FAX ; 0867-67-2241
 E-mail info@tsuguro.jp

★ご記入後、PDF等でご記入の上記メールアドレスまでお送りいただくか、FAXあるいは郵送にて送付ください。
 なお、不備等がある場合は連絡させていただく場合があります。

★プログラムの内容等に関するお問い合わせは、鳥取大学 農学部 生態工学研究室 日置佳之教授まで
 ご連絡ください。(連絡先 TEL ; 0857-31-5387 E-mail ; hioki@muses.tottori-u.ac.jp)

津黒高原湿原再生事業の概要（2017年度版）

1. 事業概要

事業目的：里山の山間放棄水田において生きもの豊かな（生物多様性が高い）湿原を創出するとともに、一般の人々が生きものとふれあい、環境について学習できる場をつくる。

キーワード：里山、湿原、生物多様性、環境学習

土地所有者：真庭市

事業主体：津黒高原湿原再生協議会（任意団体）

協議会構成員：蒜山ツアーデスク、真庭市環境課、真庭市立津黒いきものふれあいの里、岡山県自然保護センター、鳥取大学農学部生態工学研究室

事業期間：2014年2月～

事業内容：放棄水田を利用した湿原の創出と環境学習施設の整備

2. これまでの経緯（2013年～2016年）

2013年度

事前調査として湿原内の環境(地下水位・水質・日射量)および植生調査により湿原の現況を把握し、ヒアリングにより過去の人為や湿原環境の履歴・目標となる過去の植生を明らかにした。そしてそれらをもとに湿原の自然再生計画を策定した。

2014年度

作成した自然再生計画もとに自然再生実地研修を行い施工した。環境・植生調査は2013年から継続したほか、トンボ・水生生物の調査や高茎草本の草丈・好陽性の湿生草本の開花個体数調査も新たに実施した。

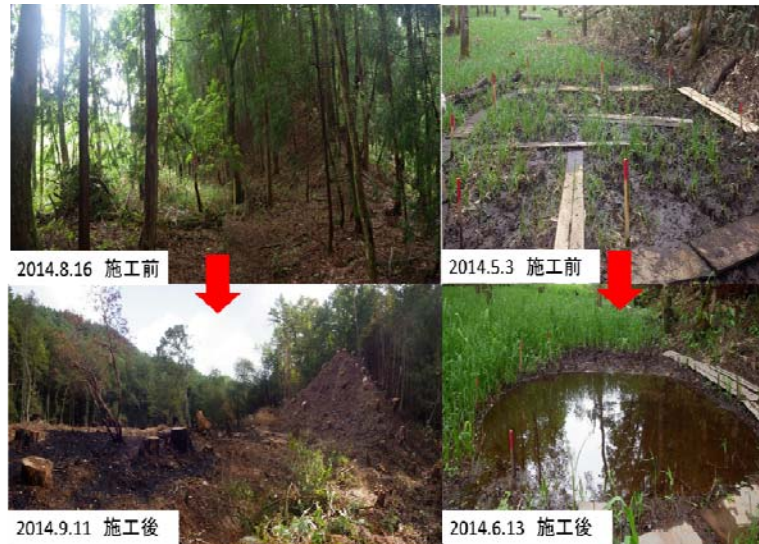
2015年度

事後調査として2014年までの調査を継続した。そして施工前の2013年から施工後の2015年で各環境や植生の質的・量的変化と施工の関係・効果を検証した。湿原の維持管理作業も行った。

2016年度

環境学習施設設置のための事前調査（地形）を行い、それらをもとに環境学習施設の配置案を作成した。同時に湿原の維持管理作業も行った。

	これまでの作業
2013年	環境(地下水位・水質・日射量・植生)調査、自然再生計画策定
2014年	自然再生実地研修、環境(地下水位・水質・日射量・植生・トンボ・水生生物)調査、湿原の維持管理作業
2015年	環境(地下水位・水質・日射量・植生・トンボ・水生生物)調査、湿原の維持管理作業
2016年	環境学習施設設置の事前調査(地形)、湿原の維持管理作業



施工前と施工後の様子

3. 2017年度の作業

2016年度作成した環境学習施設（木道、指導標、広場、展望地）の配置案をもとに施工する。

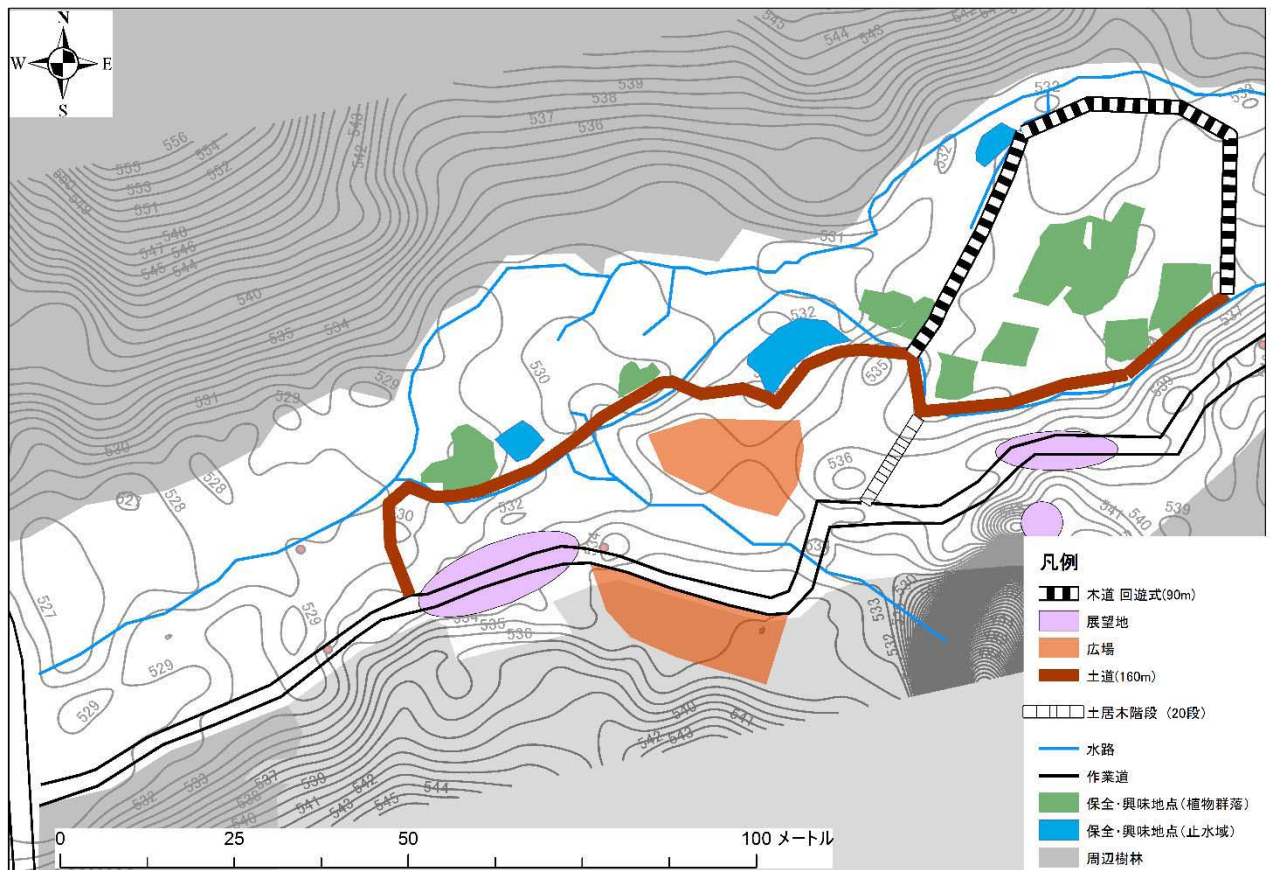
【今回の作業（予定）】

環境学習施設の整備

- ①木道施工 ②階段施工 ③指導表施工 ④広場の整備 ⑤展望地の整備

湿原の維持管理作業

- ⑥高茎湿生草本の刈り取り ⑦ササの刈り払い ⑧水路の補修 ⑨池の浚渫



平成 29 年度 津黒高原湿原 環境学習施設配置案